

「持続可能な活力ある社会を実現する経済・雇用システム」

新成長戦略の骨格

- 2020年まで名目3%、実質2%成長
- 失業率はできる限り早期に3%台に低下
- 成長分野による需要創造
 - ・環境・エネルギー
 - ・健康(医療・介護)
 - ・アジア
 - ・観光・地域活性化
- 新たな需要による雇用創出

雇用の量の拡大と質の向上のための経済システムの構築（①・④）

適切な雇用機会を確保し、雇用の質を向上させる観点から産業社会を変えていくことが必要

【雇用機会】

- 成長分野による雇用創出
- 「新しい公共」による国民ニーズの充足と雇用創出
- 地域における雇用創出

【経済社会のあり方】

- 企業評価・企業行動の仕組みの構築
- 公契約の在り方の検討
- 下請取引の適正化
- 過度に利便性を求める消費行動と、それに応える企業行動の在り方の検討
- 就業を阻害しない税・社会保障の検討
- 子育て・教育・住宅への支援
- 職業キャリア形成につながる教育

現状認識

＜経済環境・労働市場等の変化＞

- ・正規・非正規の二極化、所得格差拡大、ゆとり・きずなの喪失
- ・人口の減少、少子高齢化の進展、就業者の減少
- ・世界経済の連鎖の強まり、非正規労働者への雇用調整
- ・経済成長の鈍化、雇用機会の喪失 等

＜経済・雇用システムに求められること＞

- ①雇用の質の向上(ディーセント・ワークの実現、ワーク・ライフ・バランスの推進、雇用ルールの整備)
- ②就業意欲を実現できる「全員参加型社会」の構築
- ③再挑戦が可能な「トランポリン型社会」の構築
- ④雇用機会の創造

全員参加型社会、トランポリン型社会の構築（②・③）

誰もが「出番」と「居場所」のある社会を実現するとともに、外部労働市場を整備し、再就職しやすい社会を構築することが必要

【積極的労働市場政策】

- 若者、女性、高齢者、障害者への就労支援
- 労働市場の需給調整機能の強化
- 能力開発(キャリア形成)支援
(ジョブ・カード制度、日本版NVQの整備等)

【セーフティネット】

- 雇用保険の機能強化
- 第2のセーフティネットの構築
- ハローワークを拠点とした支援の強化
- 緊急時の公的な雇用の維持・創出

イメージ

- 雇用の場が十分に確保され、職業キャリアが形成できる。
- 仕事と生活の調和が実現できる
- 生活を支えるしかなるべき収入が得られる(例)
 - ・夫婦で働けば安心して子供を産み育てられる
 - ・労働者間の賃金バランスがとれている
 - ・介護などの公的制度の下で働く労働者も人並みの賃金が得られる
- 企業が活力を持つ

雇用の質が向上する働き方の改善（①）

雇用ルールの整備等を通じ、雇用の質を向上させることが必要

【雇用ルール】

- 「多様な正社員」の環境整備
- 複線型のキャリア選択の充実
- 労働者派遣制度の見直し
- 有期雇用ルールの整備

【賃金・処遇】

- 最低賃金の引上げ
- 均等・均衡待遇の推進等

【ワーク・ライフ・バランス】

- 労働時間等の見直し
- 育児休業等の取得促進 等